

【中学生議会 協働によるまちづくりの推進 市長答弁①】

質問区分	中学生議会	議員名	もりや ききは 守屋 咲芭	議員
発言順	NO : 13	所管課名	人権男女共同参画	課

質問事項	◇人権男女共同参画について
具体的な内容 (質問取り事項)	市にポストを設置し、解決策を発表する場をつくる

【市長答弁】

守屋（もりや）議員の質問にお答えします。

人権男女共同参画に関してのご提案ありがとうございました。

議員がおっしゃるとおり、男性、女性の不平等感がなく、心が通い合える安曇野市を目指すために、男女共同参画の意識づくりが必要であると考えております。

しかし、平成29年に実施しました男女共同参画に関する市民アンケートでは、性別による固定的な役割分担意識は年代によって変化しつつありますが、社会活動全般において、男性より女性の方が不平等であると感じる割合が高いという結果がでており、男女共同参画の意識啓発の必要性を強く感じております。

そのような中、守屋議員には、中学生議会を通して男女共同参画に興味を持っていただけたことは、これからの安曇野市を考える上で、大変嬉しく、また心強く思います。

人がお互いを理解するためには、直接意見を交換する機会が大切であると考えておりますので、男女共同参画について意見を交わす機会をもっと増やせるよう、これからの施策に活かしていきたいと思っております。

詳細は、担当部長より説明します。

【中学生議会 協働によるまちづくりの 部長答弁①】

質問区分	中学生議会	議員名	もりや ききは 守屋 咲芭	議員
発言順	NO : 13	所管課名	人権男女共同参画	課

質問事項	◇人権男女共同参画について
具体的な内容 (質問取り事項)	市にポストを設置し、解決策を発表する場をつくる

【総務部長答弁】

守屋（もりや）議員の質問にお答えします。

ご提案のポストの設置についてですが、男性や女性のご意見をお聞きするには一つの良い方法であると思います。

現在、人権男女共同参画課では、安曇野市男女共同参画推進会議の皆さんと協働で、男女共同参画フォーラムや講座を開催し、男女共同参画の意識づくりに努めております。

また、昨年から市内の高校と合同で男女共同参画に関する講座を開催し、高校生同士で意見を交わし、相互理解を図る試みを実施しており、今年度も11月30日に実施する予定であります。昨年この講座を実施して、男子、女子生徒の相互理解が進み、そこにコーディネーターとして参加した男女共同参画推進会議の皆さんも世代間の理解と交流が深まったと喜ばれておりました。

ポストの設置というご提案ですが、先ほど市長も申しましたとおり、人がお互いを理解するためには、直接意見を交換する機会が大切であると考えておりますので、このような試みを更に広げ、その機会にアンケートなどでご意見をお聞きし、その結果について、年2回発行しています男女共同参画の広報誌「湧愛」に掲載させていただき、広く市民の皆さんへ広報してまいりたいと思います。

【中学生議会 協働によるまちづくりの推進 市長答弁②-1】

質問区分	中学生議会	議員名	関 怜奈 ^{せき れいな}	議員
発言順	NO:14の1	所管課名	議会事務局	課

質問事項	◇市議会議員について
具体的な内容 (質問取り事項)	市議会議員を決める際に、年齢や性別で定員をつくる。

【市長答弁】

関（せき）議員の質問にお答えします。

安曇野市のまちづくりに、いろいろな人の意見が反映できる仕組みづくりができないか、というご提案だと思います。

この後、部長から細かな答弁がありますが、国の制度の中で、すぐというわけにはいかないところもあります。

しかし、市長として、特に、これからの安曇野市の主役となるみなさんをはじめ、若い人たちのご意見はとても大切であると考えていますし、現場の意見を聞くと、常々職員にも指示しているところです。

本日いただいた皆様のご提案については、真剣に受け止め、市の施策に反映し、できるところから取り組んでまいりますので、関議員も、安曇野市をもっと知り、好きになっていただいて、誰もが幸せに暮らせる安曇野市を一緒に考えていってください。

詳細は、担当部長より説明します。

【中学生議会 協働によるまちづくりの推進 教育長答弁②-2】

質問区分	中学生議会	議員名	関 怜奈 ^{せき れいな}	議員
発言順	NO : 14の2	所管課名	学校教育	課

質問事項	◇市議会議員について
具体的な内容 (質問取り事項)	市議会議員を決める際に、年齢や性別で定員をつくる。 学校などで政治について興味を持ってもらえるように、学ぶ機会を増やす。

【教育長答弁】

関（せき）議員の質問にお答えいたします。

この中学生議会で学んだことや良さを、関議員をはじめ、この中学生議会に参加されたみなさんが、中学校で様々な形で発信していくことも、一つの方法かと思えます。

今回参加された中学生議員の中には、提言型の質問を作成するにあたり、クラスでアンケートを取って調査活動を行い、その分析結果を基に質問を作成したというお話をお聞きしました。

とても意味のある取組だと思えます。

学級や学年、または生徒会活動等とつなげて、中学生議会の学びを基に、学校で何ができるか考え実行してみてください。

関議員ご提案のように、市政に関心を持ち考え合う生徒が増えていくことを期待しています。

詳細は、担当部長より説明します。

【中学生議会 協働によるまちづくりの 部長答弁②-1】

質問区分	中学生議会	議員名	関 怜奈 議員
発言順	NO:14の1	所管課名	学校教育 課

質問事項	◇市議会議員について
具体的な内容 (質問取り事項)	市議会議員を決める際に、年齢や性別で定員をつくる。

【教育部長答弁】

関（せき）議員の質問にお答えします。

若い人や女性など多様な意見を取り入れるという関議員のご意見は、とてもよい考えだと思います。

しかし、一定の条件により定員を設けてしまうと、投票の結果1票の重みが違ってきてしまう場合があります、憲法が保障する法の下での平等や、選挙の4大原則の1つである平等主義に反する恐れもあるため、公職選挙法と照らし合わせ慎重に検討する必要があります。

議員がご提案のとおり、多様な意見を届けるという点で「将来、議員になりたい。」という人を増やすということはとても大切なことであり、25歳になれば市議会議員に立候補することができます。

また、議員を選ぶ人を増やす、すなわち投票する人を増やすこともとても大切です。例えば、前回の安曇野市長・市議会議員選挙では、全体の投票率が約63%に対し、10代で約43%、20代では約36%と投票率が低い傾向でありましたが、18歳だけの投票率を見ると約53%と高くなっています。

これは、学校で選挙について学ぶ機会が多い高校3年生の投票が多かったと考えられます。

このことから、選挙の仕組みや政治参加の意義を学ぶ教育を「主権者教育」と呼びますが、この主権者教育を積極的に推進し、将来18歳になって選挙権を得る皆さんに政治や選挙に関心を持ってもらい、投票を通じて大事な意見を届けてもらいたいと思います。

【中学生議会 協働によるまちづくりの 部長答弁②-2】

質問区分	中学生議会	議員名	関 怜奈	議員
発言順	NO : 14の2	所管課名	議会事務局	課

質問事項	◇市議会議員について
具体的な内容 (質問取り事項)	市議会議員を決める際に、年齢や性別で定員をつくる。

【議会事務局長答弁】

関（せき）議員の質問にお答えします。

議員のご意見のとおり、市民が市政や議会に関心を持ってくれることが、最も重要な課題と市議会も考えております。

ご指摘の議員の偏り、議員のなり手不足などは、全国的にも問題が指摘されている状況ですが、市議会議員の選挙は毎回行われています。

また、現在の女性議員の割合は27.3%で、長野県内の市の中では一番高い割合となっています。

市議会では、「市民に開かれた議会」、「市民参加を推進する民主的な議会」を目指し、平成25年に制定した議会基本条例に基づき、議会報告会を実施し、議会で決まったことの報告、市民との意見交換会を行うなど、市民の皆さんのお話を聞く努力をしています。

次に、情報の発信として、ホームページにおいて、定例の市議会の様子をライブ中継や録画の放送も行っています。

また、議会で、決まったものの内容、一般質問や会議の様子、議会で決まったことの報告や市民の皆さんの声などを載せた、議会だよりを発行しています。ぜひ、ご覧ください。

議会では、小さな子どもがいるお母さんたちにも、議会が傍聴できるように、市役所に託児室を設置し、小さなお子さんのお預かりもしています。

若い人や女性が政治に関心を向けて、議員を目指すことにつながることを願って、皆さんが議会を身近に感じるような取り組みを続けて行きたいと思っております。

【中学生議会 協働によるまちづくりの推進 市長答弁③】

質問区分	中学生議会	議員名	にしお こうた 西尾 耕太	議員
発言順	NO : 15	所管課名	学校教育	課

質問事項	◇外国の方たちとの交流について
具体的な内容 (質問取り事項)	外国の方と触れ合い文化を知る場を増やす。

【教育長答弁】

西尾（にしお）議員の質問にお答えします。

安曇野市で生活をしている外国籍の方々は、10月1日現在で1,260人。これは安曇野市民全体の1.29%に相当します。

うち未成年は157人で、皆さんと同じ学校で勉強をしている方もいます。

しかし、国籍や民族といった垣根を越え、異文化の人々と触れ合い理解しあうことが、西尾議員がおっしゃるように、これからの課題だと考えています。

安曇野市で生活をしている外国籍の方も、安曇野市の一員としてとらえ、外国籍の方から外国の文化を学んだり、困っていれば共に手を取り合って考えたりしていくことが必要になってくると考えています。

詳細については、担当部長が説明します。

【中学生議会 協働によるまちづくりの 部長答弁③】

質問区分	中学生議会	議員名	にしお こうた 西尾 耕太	議員
発言順	NO : 15	所管課名	学校教育	課

質問事項	◇外国の方たちとの交流について
具体的な内容 (質問取り事項)	外国の方と触れ合い文化を知る場を増やす。

【教育部長答弁】

西尾（にしお）議員の質問にお答えします。

西尾議員は、地域で活躍されている外国人の方との交流を視野にいれているのではないかと考えます。

そう考えると、総合的な学習の時間や道徳の時間の題材に取り上げて扱うことがよいかと思います。

こんな学習をしてみたいという西尾議員の声を学校の先生方に伝えていくのはいかがでしょうか。

また、中学校の生徒会活動で、グローバル化や国際化を題材にして活動をする方法もあるかと思えます。

安曇野市には、ACS（安曇野市コミュニティスクール）事業があり、外国の方も含め地域の方を講師にお願いすることが可能です。

一方で、ご指摘の通り仕事を休んで講演をするのは、外国籍の方々に限らず簡単ではありません。

そこで、「学校」という枠に捉われずに、外国籍の方々の交流の輪の中に「皆さんから」積極的に飛び込んで、交流する機会を求めていただきたいと思います。

安曇野市では、市内4カ所で日本語教室を開催しています。

生活の中で日本語が分からずに困っている、日本語が話せるようになりたいという外国籍の人を対象に、ボランティアスタッフが無料で日本語を教えています。

平成29年度は、延べ1,227人の人が参加しました。このような場に足を運んでいただき、コミュニケーションを高めて頂ければと思います。

市が共催しているイベントについて、この場をお借りしていくつかご紹介いたします。

7月頃開催の「日本語 de スピーチ大会」は、外国籍の方の意見発表を日本語で聞くことができますし、10月の「多文化共生フェスティバル」、11月の「あづみの国際DAY」では、ブース展示やステージパフォーマンス、母国料理の試食会など多彩な交流ができます。

ぜひ一度足を運んでいただき、外国籍の方との多くの交流の機会にしていただければと思います。